

## 家路

家に近づけばいつも夕日

今日もやっぱり坂道を  
何とはなしにではあるけれど  
やっぱり黄色い、けれども透きとおった光を  
まともに顔で受け止めながら  
仕方なく上ってゆくのです

家に近づけばいつも夕日

あの日もやっぱり坂道を、飛びはね飛びはね  
やっぱり黄色い、けれども沁みるような光を  
ちっとも気にはかけないで  
その代わり、長あい長あい影法師を  
飽きずに眺めていたもんでした

家に近づけばいつも夕日

昔、背を向け  
今、顔を向け  
一体それがどうだと言うのだ

家に近づけばいつも夕日

今日も無言のあの顔に  
不安を募らせ角を曲がる

(1982.2.23)